

高校ベンチャー留学2009～第4期生～

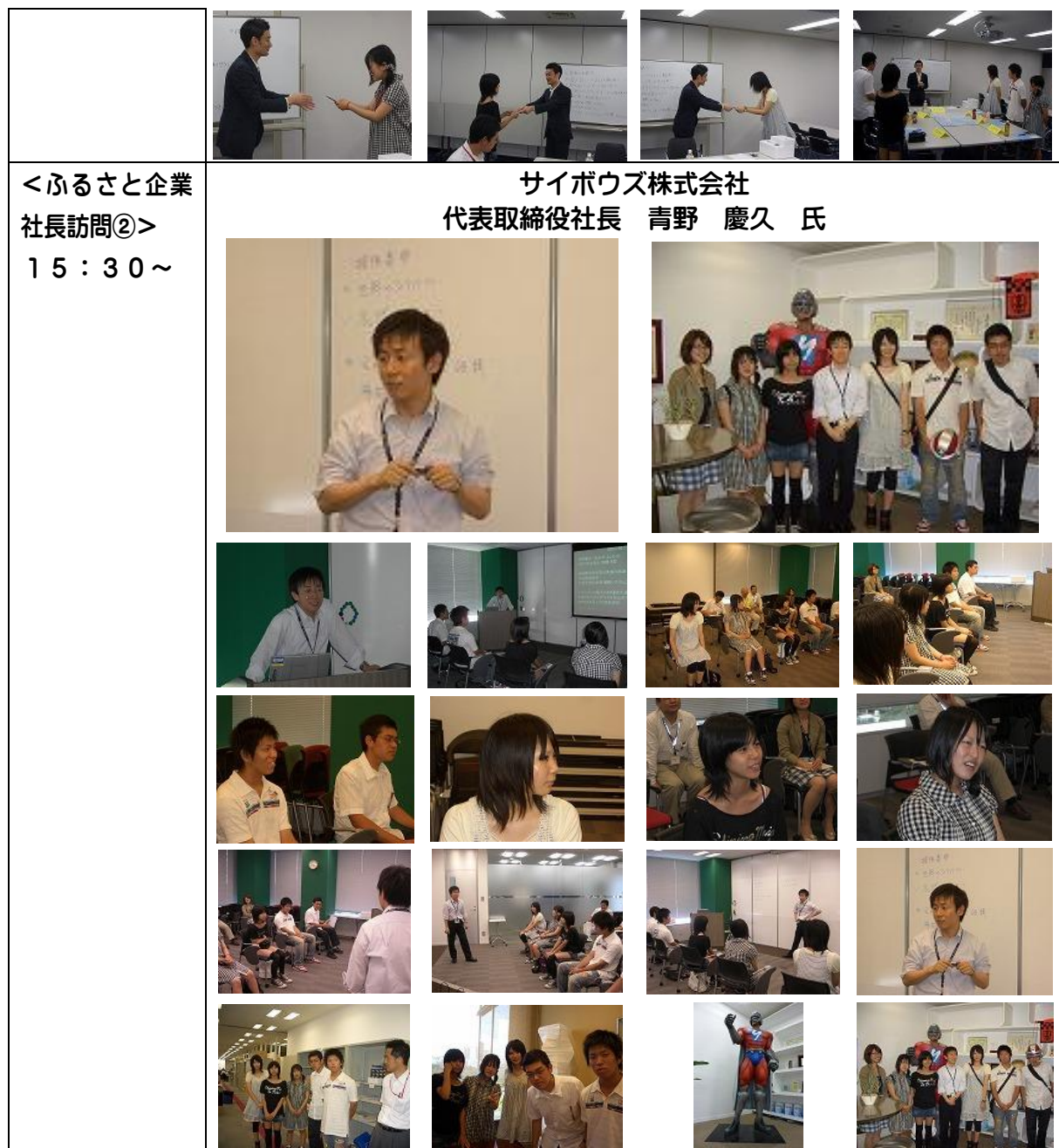
東京の社長に会いに行こう！この4日間の出会いがあなたの人生を変える！

★期 間 平成21年8月4日（火）～8月7日（金）の4日間
 ★参 加 今治市の高校生 5名
 ★内 容 8月4日（火）
 ふるさと企業 社長訪問①
 ふるさと企業 社長訪問②

8月5日（水）～8月7日（金）
 東京ベンチャー留学2009 ETICプログラム

プログラム

タイムスケジュール	
2009年8月4日（火） 高校ベンチャー留学 1日目（東京）	
時間	内容
<ふるさと企業 社長訪問①> 13:00～	株式会社 パイプドビッツ 代表取締役社長 佐谷 宣昭 氏 



東京ベンチャー留学 第30期 プログラム

日本全国から熱い想いを持った若者が東京に集まる「東京ベンチャー留学」。

地元に戻り、起業した人 学生団体を立ち上げた人、地域を元気にする活動を始めた人それぞれのフィールドで、今も挑戦を続けています。

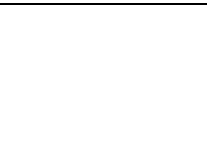
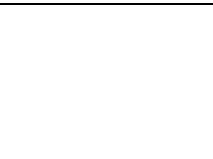
「東京ベンチャー留学」には、人生を変えるような出会いや大きくはばたくためのチャンスがたくさんあります。

だけど、チャンスは、ただそこにあるだけです。

受身で過ごすだけの3日間なら、あっという間に過ぎ去って “いい思い出” で終わってしまいます。

どんな3日間にするかは、あなた次第です。

2009年8月5日(水) 高校ベンチャー留学 2日目(東京:NP0 法人ETIC オフィス)		
時間	内容	
09:30~ 10:30	●オリエンテーション 3日間の心得 今回のプログラムの確認 名札の記入・諸注意など	 
10:30~ 11:30	●ゼミナール紹介 今回のプログラムに登場する企業や 経営者の紹介	 
11:30~ 13:30	●ストーリーテリングと目標設定ワー クショップ	 
14:30~ 16:00	●ソーシャルインターンシップセミナ ー	 
ゼミナールA 17:30~ 20:30	①NP0 法人ケア・センターやわらぎ 代表理事 石川 治江 氏	 

2009年8月6日(木) 高校ベンチャー留学 3日目(東京:NP0 法人ETIC オフィス)		
時間	内容	
ゼミナールB 09:30~ 11:30	①かものはしプロジェクト 共同代表 村田 早耶香 氏	 
ゼミナールC 13:30~ 15:30	①NP0 法人 KOMPOSITION 代表理事 寺井 元一 氏	 
	②NP0 法人メタボランティア 代表取締役 河野 誠二 氏	 
16:30~ 19:00	③(株)ワーク・ライフバランス コンサルタント 大塚 万紀子 氏	 
	●インターン経験者による事例報告会	 

2009年8月7日(金) 高校ベンチャー留学 4日目(東京:代々木オリンピックセンター)		
時間	内容	
ゼミナールD 10:00~ 12:00	①(株)プラスリジョン 代表取締役 福井 佑実子 氏 ②(株)ジャパンエリアマネジメント 代表取締役 西本 千尋 氏	   
14:00~ 15:00	●フィードバックミーティング(個人面談)	 
15:00~ 16:00	●プレゼンテーションタイム	 



高校ベンチャー留学に参加して、東京の社長さんと出会ってどう感じましたか？

 今治明德高等学校 1 年生 阿部 直人 さん	今回、体験して、人のことを思う真心や、目指すものの大切さ、誠実な気持ちなど、たくさんの大切なことを学ぶことができました。大学生や社会人の人達、社会企業家と呼ばれている方々の話を直接聞くことができたのは良い経験になったし、今後の人生においても役に立つことばかりでした。この4日間の経験は必ず僕の力になることだと思います。スタッフの方々も丁寧に、優しく接してくれたのも良かったし、社会企業家の方々も、とても面白くて為になるような話ばかりしてくれて、とても充実していた4日間だったと思います。
 今治西高等学校 1 年生 赤瀬 頼美 さん	今回参加してみて、普段の生活では絶対に学べないことをたくさん学ぶことができました。1日目のふるさと企業社長訪問では、高校生だけのプログラムだったので簡単な言葉で説明してくれたのですが、2日目からは、大学生向けの説明で、知らない言葉などがたくさん出てきて企業以外のことも学ぶことができました。ありがとうございました。そして、ETICのスタッフさんや地場産の方に一番感謝です。このような珍しい企画のメンバーの1人になったことに誇りを持ちたいと思います。この4日間で学んだことを、将来に活かしていきたいと思います。貴重な経験、本当にありがとうございました。
 愛光高等学校 2 生 梶川 侑真 さん	このベンチャー留学では、普段の生活では学べない様々なことを起業の最前線にいる方々から直接学ぶことができました。ベンチャー留学を通して学んだことは、人は徳・才・志を身につけなくてはならないということです。「徳」とは、謙虚さや誠実さ、そして思いやりなどを持つこと。「才」とは、洞察力や発想力、表現力そして専門技術などを身につけること。「志」とは、立派な理念を持ち、それを成し遂げるための強い意志を持つこと。今まで成功したといわれる人には、この3つが備わっているように思えます。自分はまだまだですが、これから成長する中でこの3つを身に着けていきたいと思っています。
 今治東中等教育学校 2 年生 高橋 瑞穂 さん	この4日間驚きと発見の連続で、時間が過ぎていくのがとても早く感じました。ETICで出会った大学生の人たちは、将来のビジョンが具体的に確立していて、その夢に向かって「試行」している姿に私はとても刺激を受けました。この4日間、毎日自分と向き合い、「昨日の自分を越える！」という目標を立てたことで、ひとまわりも、ふたまわりも成長できた気がします。「失敗は挑戦した人にしか味わえない。そしてその先に成功がある。」4人の仲間と共に成長できたこの4日間は私の人生で貴重な財産となりました。 高校ベンチャー留学最高！
 今治西高等学校 1 年生 渡部 亜弥子 さん	私は最初何を学び取ればいいのか分からず不安でいっぱいでした。しかし、実際に社長さんや社会企業家の人たちの話を聞くと、ある共通点を見つけました。それは、本当に高い志を持っていることと行動力があるということです。そんな人たちの話を聞いていくと、継続すること、もっとコミュニケーションを取ること、時間を有効に使うことなど、自分に足りないものが見えてきました。さらに企業家の人たちの実体験の話など、いろいろな話を聞くことができ、とても密度の濃い時間を過ごすことができました。わたしはこれから、この4日間のことを思い出しながら頑張っていこうと思います。

平成21年8月22日 Venture Shop (ベンチャー・ショップ) 出展

今治地域地場産業振興センター主催の「バリバリものづくりおもしろフェスタ2009」において、高校ベンチャー留学の4期生5名が「Venture Shop (ベンチャー・ショップ)」を出展し、実際のビジネスを体験しました。また、イベントの運営スタッフとしても活躍しました。東京ベンチャーで知り合った大学生も助っ人にきてくれて、感謝感謝でした。



平成21年10月26日 今治市長に報告を行いました！

(菅 良二 今治市長 談)

若いうちの知識や経験は、将来必ず役に立つものになります。今回の貴重な体験だけでなく、これからも本を読んだり、体験を積み重ねて、立派な人物になってください。



高校ベンチャー新聞'09 ~第1日目 サイボウズ訪問~ ふるさと企業社長訪問！サイボウズ青野社長さんの巻



右から

梶川 侑真 (愛光高等学校2年)
阿部 直人 (今治明德高校1年)
高橋 瑞穂 (今治東中等教育学校2年)
青野 慶久 社長 (サイボウズ株)
渡部 亜弥子 (今治西高等学校1年)
赤瀬 頼美 (今治西高等学校1年)
有島 ころろ さん(サイボウズ株)

サイボウズの青野さんが大切だと考えていることは、誠実さでした。学校のテストは友達に手伝ってもらうことはできないけど、会社の仕事だと、誠実な人は手伝ってもらえる。ということを教えてもらいました。今回のベンチャー留学では、社会起業家の方々は皆同じように、誠実であることが大切だと言っていたので、それほど大切なことなんだ、と痛感しました。

僕は、これからは青野さんが言っていたように、自分の目指す夢を強く願ひ、周囲の人に誠実であり続けたいと思います。

(阿部)

青野社長のお話の中で、深く印象に残っている言葉があります。

それはサイボウズの社訓でもある「自立」「成長」「伝承」「協調」「誠実」「継続」という言葉です。そしてその中でも「誠実」という言葉を守っていれば、成功はしなくても失敗はしないとおっしゃっていました。「誠実……：いっわりがなく、真心がこもっていること。」私もこの言葉を常に忘れず、人とコミュニケーションをとるうえで、また、将来起業するうえで役立てていきたいと思いました。

(高橋)

社長訪問が、二箇所目ということもあって、私の緊張も少しとけていました。さらに青野社長の話がとても上手で、質問しやすく、ためになるお話をたくさん聞くことができました。特に、グラミン銀行のムハマド・ユヌスさんの話がとても印象に残っています。青野社長は、ムハマド・ユヌスさんの目的だった、「皆でよくなること」を目標にしていました。だからサイボウズの社員さんは、協調性や誠実さ、自分の意志をしっかりと持っているように感じられたのだと思います。そして私は、人と支え合うことの大切さを学ぶことができました。

(渡部)



青野社長のお話はとても分かりやすかったです。青野社長はとても優しく面白い方でした。同じ高校出身ということでも勝手に親近感が沸いてしまっています。オフィス見学ではたくさんさんの部屋があり、会議室には全て各地の地名が着いており、とても雰囲気がありました。そしてオフィスの広さに驚きました。またサイボウズの社員の方々も青野社長のようになさる方ばかりだと感じました。普段は入れないような場所に入ることができとてもうれしかったです。

(赤瀬)



最初、少し緊張していたけれど、佐谷社長とお話していくうちに積極的に話していけるようになりました。印象に残っているのは、一人一人話しをするときに、相手の目をしっかりと見ていたことです。力強い目力に佐谷社長のエネルギー感を感じました。私が佐谷社長からもらったメッセージカードには、「人から信頼されるようになるには、まず自分が人を信頼しよう」と書いてありました。このメッセージカードは毎日見るように勉強机に飾ってあります。中に書かれている言葉の一つ一つが私にとってかけがえのない宝物となりました。

(高橋)

佐谷社長は熱血あふれる方で様々なことを学び取ることができました。その中で印象に残ったのが現実を肯定する大切さです。人はよく今よりもいい環境や条件を求めます。たとえば、「もっと大金持ちの家にうまれていたら」とか「もっと頭がよければいいのに」などです。しかし、現実はそのなかに甘くありません。現実が肯定できないのであれば、将来自分の理想を実現するために今は何をすべきかを考えて、実行するほうが、ただ文句を言っているよりも断然なれる可能性はあります。現実を受け入れ、そして見極めてよく考えて、着実に前進する。そんな生き方をしようと思っています。

(梶川)

(梶川)

熱く真剣に話してくれました。



職場の雰囲気思わず背筋が伸びました。

『社長』を訪問する、その言葉に緊張してしまっていたのですが、佐谷社長にフォローしていただき、あまり難くならずお話することができました。佐谷社長と今治のいいところを出し合ったときに、今治に住んでいる私たちよりもよく知っている佐谷社長はすごいなと思いました。オフィスまで見学させていただきました。そのとき、一人二、三台くらいのパソコンを操作していたので驚きました。データベースを管理・運営するためにはそのくらいの仕事が必要なんだと、改めて勉強しました。そしてみなさんが仕事に誇りを持っているように見えました。私もそんな仕事がしたいです。ありがとうございます。

(赤瀬)

初めにお話を伺ったのはパイプドビッツの佐谷社長でした。私にとって社長にお会いするのも、企業家の話を聞くのも、何もかもが初めてで、ただひたすら緊張していました。初めて名刺交換をしたとき、戸惑っていた私に佐谷社長は優しく接してくださいました。やはり会社を動かす立場にある人は、コミユニケーションをとることが上手だと思いました。私はコミユニケーションをとることがあまり得意ではないので、佐谷社長を見習おうと思いました。まず苦手意識をなくす為、積極的に他の人と意見を交わしていこうと決めた最初の社長訪問でした。

(渡部)

高校ベンチャー新聞 08 ～第2、3、4日目 ベンチャー留学～ 様々な分野で活動する先輩からアドバイスを受けました！

カンボジアの児童買春を救え
 かものはしPJ 村田さん



村田さんの話で一番印象に残ったフレーズは、自分に無いものを持っている仲間を大切にし、お互いに支えあい、役割分担をする。ということです。何故このフレーズが印象に残ったかというと、団体競技のスポーツをやってきたからです。それぞれの特性を活かして、メンバーの一人ひとりがチーム全体を支えて、助け合うことができて、初めてチームとしてなりたつということを改めて感じました。人を助けることで、自分を助けることもできる。ということ、村田さんの話を聞いて初めて知ることができました。

(阿部)

西本さんの話の中で、印象に残ったのは、多様性と包摂性です。日本人は比較的排他的なところがあるように思われます。しかし、この国際化している社会の中でいつまでも排他的な訳にはいきません。外国との交流がますます進み、移住者もたくさん来るようになると思います。すると、新しい価値観にふれることとなります。そこで、排除するのではなく、受け入れることで、自分の視野を広げたり、自分の価値観と比べることで、それぞれのよいところを見出したりしていきたいと思っています。

(梶川)



ストリート広告で街を元気に
 ジャパン・アジア・マネジメント 西本さん

石川さんのお話は私がこれから夢を目指すに当たって役に立つことばかりでした。今の私には難しい話や言葉も多くありましたが全てが勉強になったと思います。私も将来石川さんのように人の役に立つ仕事がしたいと思っています。なので、石川さんから教わったことをきちんと守っていききたいです。そして、しっかりとした夢を持って追いかけていきたいです。

石川さん、
 ありがとうございます。
 ございました。

(赤瀬)

福祉分野の先駆者
 ケア・センターやわらぎ 石川さん



福井さんのお話を聞いて、「自分で軌道修正する柔軟性を持つ」という言葉がとても印象に残っています。私が最初聞いたとき、言葉が難しくて意味がよくわかりませんでした。しかし、お話を聞いていくうちに、それは自分の考えや、自分の周りの状況がどう変化しても、それに合った行動を起こしていくことだとわかりました。しかし私にとつて、それはとても難しいことです。が、福井さんが言っていた「行動することはできることから」やっていこうと思います。最後に心に残るお話が聞けて、良かった。

(渡部)

障害のある人に活躍の場を
 プラスリジョン 福井さん



この講座に参加して思ったことは、今の社会をもっと女性が活躍できるような社会にすること、女性も男性と同じような評価を得られる社会にすることです。「ワークもライフも充実している人は、ライフで得た経験をワークで活かすことができる。そして、より充実した生活を送ることができる。」とおっしゃっていました。「貪欲に生きたいのよ！学生だからこその欲はあるはず。」というアドバイスを胸に刻んで「思考」より「試行」の精神で、何事にも全力投球でパワフルな大塚さんのような女性になりたいと思いました。

「仕事」と「家庭」の相乗効果
 ワーク・ライフ・バランス 大塚さん



(高橋)

アートで街を活性化
 KOMPOSITION 寺井さん



寺井さんが言っていたのは、「ちよいする」ということでした。「ちよいする」というのは、寺井さんが作った造語で、意味は、物事を深く考えすぎず、体の動く方向へ迷わず進むということでした。いつも物事を深く考えすぎて、奥手になったり、素直になれないことが多い僕にはとても衝撃的な台詞でした。軽い気持ちで取り組むというのは違うと思うけど、深刻にならず、体が反応する方向へ迷わず進む決断力こそが寺井さんの言っていた、「ちよいする」ということなんだと思います。

(阿部)

あなたの脂肪が地球を救う？
 メタボランティア 河野さん



河野さんは、発想が豊かな方だと思います。メタボランティアの着眼点にはかなり驚かされました。「食料」という同じカテゴリーの中で対極にある「飢餓」と「メタボ」の問題をつなげて同時に解決するという発想はなかったです。そういう点で発想の転換の重要性を思い知らされました。あと、強制的ではなく自発的にさせるということも印象深かったです。ただ嫌々するのではなく、その人の善意に基づいてするので、飢餓に陥っている人もメタボの人も幸せになれる。これからの時代はその「誰もが幸せになれる」という考え方が重要になってくると思います。

(梶川)

高校ベンチャー新聞'09 ～総括～ ベンチャー留学終了！そして...

今回、体験して、人のことを思う真心や、目指すものの大切さ、誠実な気持ちなど、沢山の大切なことを学ぶことができました。大学生や社会人の人達や社会起業家と呼ばれている方々の話を直接聞くことができたのは良い経験になったし、今後の人生において役に立つことばかりでした。この四日間の経験は必ず僕らの力になることだと思います。スタッフの方々も丁寧で、優しく接してくれたのも良かったですし、社会起業家の方々も、とても面白くて為になるような話ばかりしてくれて、とても充実していた四日間だったと思います。

(阿部)



この四日間、驚きと発見の連続で、時間が過ぎていくのがとても早く感じました。ETICで出会った大学生の人たちは、将来のビジョンが具体的に確立していて、その夢に向かって「試行」している姿に私はとても刺激を受けました。この四日間、毎日自分と向き合い、「昨日の自分を越える」という目標を立てたことで、ひとわりもふたまりも成長できた気がします。「失敗は挑戦した人にかきわえない。そして、その先に成功がある。」四人の間と共に成長できたこの四日間は私の人生で貴重な財産となりました。



このベンチャー留学では、普段の生活では学べない様々なことを起業の最前線にいる方々から直接学ぶことができました。ベンチャー留学を通して学んだことは、人は徳・才・志を身につけなくてはならないということです。「徳」とは、謙虚さや誠実さ、そして思いやりなどを持つこと。「才」とは、洞察力や発想力、表現力そして専門技術などを身につけること。「志」とは、立派な理念を持ち、それを成し遂げるための強い意志を持つこと。今までで成功したといわれる人には、この三つが備わっているように思えます。自分はまだですが、これから成長する中でこの三つを身につけていきたいと思っています。

(梶川)



今回参加してみて、普段の生活では絶対に学べないことをたくさん学ぶことができました。一日目のふるさと企業社長訪問では高校生だけのプログラムだったのでまだ簡単な言葉で説明してくれたのですが、2日目からは、大学生向けの説明で、知らない言葉などがたくさん出てきて起業以外の事も学ぶことができました。ありがとうございました。そしてETICのスタッフさんや会場産の職員に一番感謝です。このような珍しい企画のメンバーの一人になれたことに誇りを持ちたいと思います。この四日間で学んだことを、将来に活かしていきたいと思っています。貴重な経験、本当にありがとうございました。

(赤瀬)



ベンチャー留学は一生の思い出になりました。
この経験を糧に頑張ります！

私は最初、何を学び取ればいいのか分からず不安でいっぱいでした。しかし、実際に社長さんや社会起業家の人たちの話を聞くと、ある共通点を見つけました。それは、本当に高い志を持っていることと行動力があるということです。そんな人たちの話を聞いていくと、継続すること、もっとコミュニケーションを取ること、時間を有効に使うことなど、自分に足りないものが見えてきました。さらに企業家の人たちの実体験の話など、いろいろな話を聞くことができて、とても密度の濃い時間を過ごすことができました。わたしはこれから、この四日間のことを思い出しながら頑張っていこうと思っています。

(渡部)



みなさん
ありがとうございました！